

## □教員養成に係る授業担当者の学位及び授業科目に関する業績

### 【専任教員】50 音順

氏名	浅見 奈緒子	担当科目	理科
学位	修士（理学）		
業績 （教職 に係る もの）	<学術論文等> 平成 28 年 3 月	「科学コミュニケーションの新たな可能性を探る試み～天文学と茶道～」(共著) 日本教育大学院大学研究紀要第 9 号 9 ページ	
	平成 29 年 3 月	「最先端科学技術を身近に」(単著) 日本教育大学院大学研究紀要第 10 号 6 ページ	
	<その他> 平成 19 年 9 月	誠文堂新光社 「子供の科学」 2007 年 10 月号 なぜなぜどうして? のコーナーでの質問への解答	
	平成 24 年 4 月～ 現在	大田区「おもしろ理科教室」おおた理科博士	
	平成 25 年 4 月～ 平成 25 年 8 月	「これからの教育の話をしよう」第 1 回 これからの理科教育①、第 2 回 これからの理科教育②、第 3 回 私たちが理科を学ぶわけ（前編）、第 4 回 私たちが理科を学ぶわけ（後編）日本教育大学院大学連載	
	平成 26 年 1 月～ 現在	RikaTan「季刊 理科の探検」 企画・編集委員	
	平成 26 年 8 月	「日本教育」連載 15 いま、日本は 『小惑星探査機「はやぶさ」がつなぐ次世代の宇宙開発』 発刊：公益社団法人 日本教育会	
	平成 28 年 10 月	NHK 出版、池上彰「はじめてのサイエンス」 内容監修協力（科学技術）	

氏名	天野 一哉	担当科目	教職概論
学位	文学士		
業績 （教職 に係る もの）	<著書> 平成 20 年 3 月	『平成 19 年度産業競争力強化人材育成事業委託費「キャリア教育のコーディネート機能等に関する調査」報告書』、同別冊 経済産業省経済産業政策局産業人材参事官室	
	平成 21 年 12 月	「アメリカの『学校改革』をめぐる対抗と批判」 『人間と教育』 2009 冬号	
	平成 23 年 5 月	「〈共生〉と教育コーディネーション —米国チャータースクールの事例から—」(英文名 Educational Coordination for “Kyosei” —The Case of Charter Schools in USA —) 日本共生学会『共生科学』第二号	
	平成 24 年 2 月	「学力世界一の上海から日本の大学改革の欠点が見える」 『中央公論』中央公論新社	
	平成 25 年 6 月	『中国はなぜ「学力世界一」になれたのか-格差社会の超エリート教育事情』 中央公論新社	
	平成 26 年 6 月	「プロジェクト学習の可能性」 『研究紀要 94 号』教育調査研究所	
	平成 28 年 4 月	『共生への学び』改訂版 ダイヤモンド社	
	平成 29 年 3 月	「日本の先生を応援する」とは 日本教育大学院大学紀要『教育総合研究』10 号	

氏名	伊藤 一美	担当科目	知的障害児・者への心理・生理・病理
学位	修士（教育学）		
業績 （教職 に係る もの）	<著書> 平成 21 年 8 月 平成 22 年 9 月 平成 24 年 6 月 平成 29 年 3 月 <学術論文等> 平成 29 年 3 月 <その他> 平成 24 年 4 月～ 平成 24 年 10 月 平成 25 年 8 月 平成 26 年 12 月 平成 28 年 8 月	クラスで育てるソーシャルスキル（共著） 小学校国語・算数 個々のニーズに応じた指導に役立つ教材・教具（共著）明治図書出版 教材教育と特別支援教育のコラボレーション：授業研究会の新たな挑戦（共著）金子書房 授業力&学級経営力 PLUS（共著）明治図書 算数障害の理解と支援（単著）日本 LD 学会 LD 研究 （連載）計算につまずきがある子どもの算数クリニック（単著）実践障害児教育 学習研究社 計算のつまずきへの支援につながるアセスメント（単著）実践障害児教育 学習研究社 小学生の発達相談—計算につまずいています—（単著）児童心理臨時号 金子書房 こころの科学 学習障害を支援する 計算のつまずきの理解と支援（単著）金子書房	

氏名	伊藤 玄二郎	担当科目	比較文化論（1）、国際マスコミ論（1）、国際マスコミ論（2）、国際文化交流史
学位	学士（社会学）		
業績 （教職 に係る もの）	<著書> 平成 25 年 10 月 平成 26 年 10 月 平成 27 年 7 月 平成 27 年 7 月 <その他> 平成 26 年 3 月 平成 27 年 12 月 平成 28 年 7 月	「アラビア語版 日本小百科」（カタール大学） 「南蛮屏風下張文書のロマン」 雑誌「星座」71号（かまくら春秋社） 「南蛮屏風が残した文書」（毎日新聞社） 「氷川丸 戦争と平和の航跡」（日本経済新聞社） 神奈川県知事特別賞 住田正一海事史奨励賞 2016 年山縣勝見賞特別賞	

氏名	金子 肇	担当科目	教育課程論(1)、初等教科教育法(算数)、教職実践演習(初等)
学位	学士(教育学)		
業績 (教職に 係る もの)	<著書・論文> 平成21年9月 平成21年9月 平成21年9月 平成24年2月 平成24年2月 平成27年4月  平成27年6月 平成28年3月  <その他> 平成5年5月 平成6年4月 平成6年7月 平成10年5月 平成14年4月 平成17年4月 平成18年4月	(著書) 「算数科実践研究」(横浜市立小学校5研究紀要) 「教師力アップへの挑戦」教育出版 教育研究所 「学習指導要領ヒストリア」(東洋館) 「共に学び生きる力を育む指導の工夫」星槎大学研究センター編 「共生科学研究序説」星槎大学共生科学研究会編 なでしこ出版 文部科学省委託「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援・教職員の専門性向上授業」実践報告集 星槎中学高等学校編 「こんなことで生徒が変わる」星槎中学高等学校編 文部科学省委託「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援・教職員の専門性向上授業」実践報告集 星槎中学高等学校編  横浜市教育委員会学校教育部次長 横浜市教育委員会教育センター所長 横浜市教育委員会学校教育部長 横浜市国際学生会館館長 横浜市勤労青少年センター所長 星槎中学校校長 星槎中学校高等学校校長	

氏名	北村 浩一郎	担当科目	教師論
学位	文学修士		
業績 (教職に 係る もの)	<著書> 平成22年9月 <学術論文等> 平成22年3月  平成27年11月 平成28年3月  平成28年9月 平成29年3月  <その他> 平成23年11月 平成25年3月  平成25年12月  平成26年7月 平成26年5月 平成26年11月	こころ—川村文子の生涯と建学の精神 (大巧社)  川村学園の建学の精神と教育思想 川村学園女子大学研究紀要 第21巻 第2号 「共生」の理念を生かした教師論 星槎大学附属研究センター研究収録 vol.9 共生社会の形成と特別支援教育・道徳教育 平成27年度星槎大学共同研究助成研究プロジェクト研究論文集「共生の理念を踏まえた教員養成に関する研究」 共生教育と特別の教科としての道徳 星槎大学附属研究センター研究集録 vol.10 初等中等教育の目的・目標と教師に求められる資質能力(他4人と共同執筆) 平成28年度星槎大学共同研究助成研究プロジェクト研究論文集  「21世紀の学校教育と教師」現代の教育と教員養成研究会にて発表 「川村学園の建学の精神—感謝の歌を中心に」 現代の教育と教員養成研究会にて発表 「今日の学校教師に求められる資質・能力について」 現代の教育と教員養成研究会にて発表 「現代の教育と教師」現代の教育と教員養成研究会にて発表 「現代の教育と教師」現代の教育と教員養成研究会にて発表 「今日の教員養成の課題」現代の教育と教員養成研究会にて発表	

氏名	鬼頭 秀一	担当科目	地球生命の歴史
学位	博士課程単位取得（退学）		
業績 （教職 に係る もの）	<著書> 平成 21 年 12 月 平成 22 年 3 月 <学術論文等> 平成 20 年 4 月 平成 21 年 6 月 平成 24 年 11 月 平成 25 年 12 月 平成 27 年 3 月 平成 28 年 3 月 平成 28 年 3 月 平成 29 年 3 月	『環境倫理学』（共著）（東京大学出版会） 『人と自然のふれあい調査はんどぶっく』（共著）（日本自然保護協会） 「環境倫理におけるホリスティックな視点と ESD」 『持続可能な教育と文化 - 深化する環太平洋の ESD -』せせらぎ出版、157-164 頁。 「環境破壊をめぐる言説の現場から」『岩波講座 哲学 第 8 巻 生命/環境の哲 学』岩波書店、151-170 頁。 「民俗学における学問の「制度化」とは何か」 岩本通弥・菅豊・中村淳（編） 『民俗学の可能性を拓く-「野の学問」とアカデミズム』青弓社、240-264 頁。 「統合的な教育的概念としての『環境教育』とその環境倫理学的基礎付け」『学 術の動向』第 18 巻（2013）第 12 号、10-14 頁。 「統合的な概念としての「共生」概念に向けて」 『共生科学研究』No.10、29 ~34 頁。 「自然の他者性と向き合う」『異文化コミュニケーション』第 19 号 19~30 頁。 「21 世紀に求められる「共生」の概念と「生きる力」」『共生への学び』ダイ ヤモンド社、20~31 頁。 「全員参加の時代に「環境倫理」を問い直す」『環境会議』2017 年冬号、40~45 頁。	

氏名	齋藤 憲子	担当科目	家庭、初等教科教育法（家庭）
学位	学士（教育学）		
業績 （教職 に係る もの）	<著書> 平成 19 年 3 月 <学術論文等> 平成 28 年 9 月 平成 28 年 9 月 平成 29 年 3 月 <その他> 平成 19 年 4 月~ 平成 23 年 3 月 平成 27 年 8 月	小学校家庭科安全指導の手引き（共著）横浜市教育委員会 家庭科における主体的・対話的・深い学びの実現に向けて ~学習指導案作り を通して~星槎大学教育実践研究発表会 実践的指導力のある教員の養成を目指して~初等教科教育法（家庭）の授業の 工夫~（単著）平成 28 年星槎大学共同研究助成研究プロジェクト研究 実践的指導力のある教員を育てる~家庭科教育法での模擬授業をとおして~ （単著）星槎大学教職研究第 1 巻 横浜市授業改善支援センター授業改善支援員として家庭科授業及び指導案作 成について指導実績 秦野市教育研究会夏季実技研修会講師	

氏名	齋藤 やす子	担当科目	教育カウンセリング、カウンセリングの基礎
学位	修士（臨床心理学）		
業績 （教職 に係る もの）	<学術論文等> 平成 25 年 11 月 平成 26 年 3 月 平成 26 年 9 月 平成 29 年 平成 29 年 9 月 （発刊予定） <その他> 平成 24 年 4 月～ 現在	キャリア発達をテーマにしたサイコエデュケーションプログラムの効果検証 1—キャリアアンカーを中心に—（単著）日本産業カウンセリング学会 キャリア発達をテーマにしたサイコエデュケイショナルグループの効果検討 （共著）跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要 キャリア発達をテーマにしたサイコエデュケーションプログラムの効果検証 2—キャリアアンカーを中心に—（単著）日本産業カウンセリング学会 教育カウンセリングの実践方法と効果検証（共著）星槎大学紀要 「教育カウンセリング」の視点から、発達領域を生かした授業実践報告—高校 生の国語「羅生門」から—（単著）星槎大学教職研究 星槎大学のカウンセリングの基礎において、カウンセリング実習に関わる自主 作成教材を作成 星槎大学の教育カウンセリングにおいて、構成的グループエンカウンターに関 わる自主作成教材を作成	

氏名	渋谷 聡	担当科目	陸上Ⅰ、陸上Ⅱ、バレーボールⅠ、バレーボールⅡ 教職実践演習（中・高）
学位	修士（体育学）		
業績 （教職 に係る もの）	<著書> 平成 22 年 8 月 平成 27 年 7 月 平成 27 年 8 月 <学術論文等> 平成 27 年 3 月 平成 27 年 11 月 平成 28 年 2 月 平成 28 年 3 月 平成 28 年 9 月 平成 29 年 2 月	スポーツメンタルトレーニング指導士活用ガイドブック（共著）ベースボ ール・マガジン社 12 ページ 気になる子の体育 つまずき解決BOOK—授業で生かせる事例 5 2（共著）学 研 10 ページ スポーツ心理学を生かした「誰でもできる陸上競技練習法・指導法」（単著）鎌 倉春秋社 111 ページ 体育実技科目における通信制大学と通学制大学の比較（単著）星槎大学紀要「共 生科学研究」No.10 13 ページ 生徒に「共生の心」を育てることのできる保健体育教員の養成（体育実技編）（共 著）星槎大学附属研究センター研究集録 Vol.9 2 ページ 共生を理念とする保健体育教員の養成（共著）平成 27 年度星槎大学共同研究助 成研究論文集 11 ページ スポーツ活動での言葉かけにおける競技者と指導者の認知の違いについて（単 著）星槎大学紀要「共生科学研究」No.11 13 ページ スポーツにおける共生認識の特徴について（共著）星槎大学附属研究センター研 究集録 Vol.10 6 ページ 教育実践演習における保健体育科指導としてのアクティブラーニングの試み（単 著）教職研究 No.1 8 ページ	

氏名	渋谷 節子	担当科目	アジアの歴史と文化（１）、アジアの歴史と文化（２）
学位	Ph.D.（人類学）		
業績 （教職 に係る もの）	<著書> 平成 27 年 5 月  <学術論文等> 平成 26 年 3 月  平成 27 年 6 月  平成 27 年 9 月  平成 28 年 3 月  平成 28 年 6 月  平成 28 年 6 月  平成 29 年 6 月	Living with Uncertainty: Social Change and the Vietnamese Family in the Rural Mekong Delta、Institute of Southeast Asian Studies.  Modernity in Southeast and East Asia: From Anthropological Perspectives、星槎大学紀要「共生科学」第 9 号（75-90 頁） ベトナム・メコンデルタの開拓におけるクメール人とベトナム人の役割 — ティエンザン省カイバー県の事例にみる共生の歴史、共生科学会「共生科学」第 6 号（52-60 頁） The Economic Life of Vietnamese Peasants in the Mekong Delta、星槎大学附属研究センター「研究集録」第 9 号（47-53 頁） Moral Economy vs. Political Economy Debate Revisited: The Case of the Vietnamese Peasants in the Mekong Delta、星槎大学紀要「共生科学」第 11 号（42-53 頁） ベトナムの農村における戦時の記憶と今の社会関係：共生への課題、共生科学会「共生科学」第 7 号（35-45 頁） ベトナムで広がる経済格差に関する研究：政治経済的变化の中を生きる人々の共生を考える、星槎大学附属研究センター「研究集録」第 10 号（74-80 頁） ベトナム・メコンデルタの村の家族と都市の仕事、日本共生科学会「共生科学」第 8 号（44-50 頁）	

氏名	嶋田 優	担当科目	国語（書写を含む）、初等教科教育法（国語）
学位	学士（教育学）		
業績 （教職 に係る もの）	<学術論文等> 平成 21 年 3 月 平成 21 年 3 月 平成 29 年 3 月  平成 29 年 3 月  平成 29 年 5 月 平成 29 年 5 月  <その他> 平成 23 年 1 月  平成 27 年 2 月  平成 28 年 4 月	国語指導力向上推進校研究集録（共著）横浜市教育委員会 横浜版学習指導要領 総則（共著）横浜市教育委員会 国語科指導の未来を拓く～読むことの指導の現状と課題を踏まえて～（単著）星槎大学教職研究第 1 巻 新たなる教育の地平を拓くために～教育者としての林竹二の実践に学ぶこと～（単著）共生社会の形成と学校教育 星槎大学 小学校国語科における「書くこと」の指導の課題と展望（単著）星槎大学 教師を目指す学生に対する大学教育の在り方 ～学校現場の現状、歴史的経過を踏まえて～（単著）星槎大学  横浜市立大鳥小学校の研究発表会で「確かな言語活動で豊かな国語の能力を育む」と題して講演 神奈川県校長会の研究発表会で、現任校で取り組んだ「小学校外国語(英語)活動」の取組について講演 国語の書写指導に関する教材や初等教育指導法に関する指導案作成に関わる教材作成	

氏名	杉山 尚子	担当科目	心理学（１）、心理学（２）
学位	博士課程単位取得退学		
業績 （教職 に係る もの）	<著書> 平成 20 年 12 月 平成 22 年 1 月 平成 27 年 12 月 <学術論文等> 平成 19 年 1 月 平成 20 年 平成 25 年 7 月 平成 28 年 9 月 平成 28 年 9 月	（翻訳著書） 「特別支援教育：特別なニーズを持つ子どもたちのために」 （明石書店） （著書） 「看護と倫理・患者の心理」 （医学書院） 「看護学生のための心理学」 （医学書院） 「学習心理学—教育を科学する」 （生徒指導第 37 巻） 「随伴性形成行動とルール支配行動—行動分析学から見た言葉と体験」 （社会科教育第 45 巻） 『『罰なき社会』を再考する』 （日本行動分析学会第 31 回年次大会論文集） 「担当保育士がペアレントトレーニングに陪席する意義」 （日本行動分析学会第 34 回年次大会論文集） 「寄宿舎指導員の指導の改善に向けた一研究」 （日本行動分析学会第 34 回年次大会論文集）	

氏名	高木 由起子	担当科目	体づくり運動Ⅰ、体づくり運動Ⅱ、水泳Ⅰ、水泳Ⅱ
学位	修士（体育学）		
業績 （教職 に係る もの）	<著書> 平成 29 年 1 月 <学術論文等> 平成 21 年 3 月 平成 26 年 3 月 平成 29 年 3 月 平成 29 年 3 月 <その他> 平成 28 年 6 月 平成 28 年 9 月	月刊 実践 障害児教育（共著）学研 1 ページ 大学教職員・学生を対象とした健康推進教室の試み（共著）東海大学紀要体育学部第 38 号 6, 8 ページ バランスボード上で姿勢制御能力とそのトレーニング効果に及ぼす過去の運動経験の影響（共著）東海大学紀要情報通信学部第 6 号 4 ページ 「共生」を意識した「体づくり運動」の実践と学生への影響（単著）星槎大学教職年報第 1 号 体づくり運動の授業における「気づき」と「調整」の具体的記述の必要性について（共著）星槎大学教職研究第 1 号 共生を目指した通信制大学に通う大学生の体力の現状（共著）日本共生科学学会 体づくり運動における「気づき」「調整」「交流」（単著）星槎教育実践研究会	

氏名	千田 光久	担当科目	特別支援教育論
学位	社会学士		
業績 (教職に係るもの)	<著書> 平成 22 年 3 月 <学術論文等> 平成 19 年 10 月 平成 24 年 3 月 平成 26 年 3 月 平成 27 年 3 月 平成 28 年 3 月 平成 29 年 3 月 <その他> 平成 21 年 6 月 平成 27 年 11 月	「岩手の障がい児教育史」 岩手県障がい児教育史研究会 (249 頁) 「エンパワメントを生かした授業づくり」 障害児教育の現状岩手大学教員と 附属養護学校教員との共同研究 (61 頁) 「相互理解を求めて学校間交流 40 年」 岩手県特別支援教育ケース研究会 3 3 「自閉症の子どもへの指導実践」 岩手県特別支援教育ケース研究会 3 5 「東日本大震災における自閉症児等の被災状況と支援課題」 岩手県特別支援教育ケース研究会 3 6 「愛着障害と発達障害」 岩手県特別支援教育ケース研究会 3 7 「岩手県における「交流教育」「交流及び共同学習」の展開」 岩手県特別支援教育ケース研究会 3 8 国立特別支援教育総合研究所の病弱専修研修講座での講義 「病弱教育特別支援学校における教育課程の在り方と実際」 奥州市立江刺愛宕小学校での講演 「インクルーシブ教育とユニバーサルデザイン授業」	

氏名	手島 純	担当科目	教師論、社会科・公民科指導法 I～IV
学位	教育学修士		
業績 (教職に係るもの)	<著書> 平成 26 年 2 月 平成 29 年 5 月 <学術論文等> 平成 24 年 6 月 平成 24 年 10 月 平成 26 年 8 月 平成 26 年 11 月 平成 28 年 2 月	(著書) 『高校教師が語る 16 歳からの哲学』 (彩流社) 『通信制高校のすべてー「いつでも、どこでも、だれでも」の学校』(編著) (彩流社) 「広がる格差社会と学校」 『保健室 6 月号』 (農文協) 「教員の意識調査」 (神奈川県高等学校教育会館教育研究所) 「教員の意識調査」 (神奈川県高等学校教育会館教育研究所) 「教育現場に強いられる不条理ー新聞記事を中心に」 『ねざす 54 号』 (神奈川県高等学校教育会館教育研究所) 公民科教育法における「倫理」の授業づくりー「人間としての在り方生き方」 にかかわってー (國學院大學教育学研究室紀要)	



氏名	仲 久徳	担当科目	教育方法論（初等）、教育方法論
学位	修士（教育学）		
業績 （教職 に係る もの）	<著書> 平成 23 年 4 月 平成 24 年 2 月 平成 25 年 9 月 平成 28 年 4 月 <学術論文等> 平成 26 年 8 月 平成 27 年 11 月 平成 28 年 3 月 平成 28 年 9 月 <その他> 平成 24 年 10 月 平成 27 年 10 月	授業づくりの教育工学（共著）なでしこ出版、東京教育工学研究会編著 132 共生科学研究序説（共著）なでしこ出版、星槎大学共生科学研究会編 169 頁 教材事典－教材研究の理論と実践（共著） 東京堂出版 616 頁 教材学概論（共著）図書文化 210 頁 多文化共生教育の視点に立った地域教材に関する基礎的研究（共著）星槎大学 附属研究センター研究集録 Vol.8 pp.38-41 4 頁 教育方法論における多様な学びの経歴をもつ学生が共に学ぶ授業の意義（単 著）星槎大学附属研究センター研究集録 Vol.9 pp.29-30 2 頁 情報メディアと授業づくり・模擬授業指導に関する研究（単著）平成 27 年度 星槎大学共同研究助成研究プロジェクト研究論文集 pp.103-112 10 頁 「教育の情報化」に関する教員研修と教材（単著）星槎大学附属研究センター 研究集録 Vol.10 pp.44-50 7 頁 模擬授業指導における教材提示方略に関する研究(3)（単著）日本教材学会第 24 回研究発表大会研究発表論文集 pp.128-129 2 頁 模擬授業指導における教材提示方略に関する研究(4)（単著）日本教材学会第 27 回研究発表大会研究発表論文集 pp.156-157 2 頁	

氏名	永井 礼正	担当科目	算数
学位	博士課程単位取得後退学		
業績 （教職 に係る もの）	<学術論文> 平成 21 年 3 月 平成 22 年 3 月 平成 25 年 3 月 平成 26 年 3 月 平成 29 年 3 月 平成 29 年 3 月	「日本教育大学院の『学校における実習』初年度報告と分析」 日本教育大学院大学紀要第 2 号 日本教育大学院大学紀要第 2 号 「日本教育大学院の『学校における実習』2008 年度の総括と今後の展望」 日 本教育大学院大学紀要第 3 号 「分数計算のもう一つの解説法—有理数の構成的アプローチ—」 日本教育大学院大学紀要第 6 号 「教員の質の向上のインセンティブとしての教員採用試験」 日本教育大学院大学紀要第 7 号 「すべての教科に数学の力を」 日本教育大学院大学紀要第 10 号 特集「共生教育実践研究」 「初等中等教育における統計教育」 日本教育大学院大学紀要第 10 号	

氏名	西永 堅	担当科目	学習障害概論、知的障害児・者への支援、発達障害の判定とその教育的対応Ⅰ、発達障害の判定とその教育的対応Ⅱ
学位	修士（教育学）		
業績 （教職 に係る もの）	<p>&lt;著書&gt;</p> <p>平成 22 年 3 月 学習障害・学習困難の判定と支援教育（共著）文教資料協会</p> <p>平成 23 年 11 月 新訂 Q&amp;A と事例で読む 親と教師のための LD 相談室（共著）中央法規</p> <p>平成 24 年 1 月 共生科学研究序説（共著）なでしこ出版</p> <p>平成 26 年 3 月 共生への学び（共著）ダイヤモンド社</p> <p>平成 26 年 5 月 復興は教育からはじまる（共著）明石書店</p> <p>平成 29 年 2 月 基本から理解したい人のための子どもの発達障害と支援のしかたがわかる本（単著）日本実業出版社</p> <p>&lt;学術論文等&gt;</p> <p>平成 24 年 7 月 発達遅滞乳幼児の早期教育に関する研究-インドにおけるポータープログラムの発展について-（共著）星槎大学附属研究センター研究報告書 No.5</p> <p>平成 26 年 10 月 The leisure activities of people with developmental disabilities（共著）The 21th Asian Federation on Intellectual Disabilities Conference, New Delhi, India. Full Pape</p> <p>平成 27 年 11 月 ネパールにおけるポータープログラムの普及活動（共著）星槎大学附属研究センター研究集録 No.9, 72-75</p> <p>平成 27 年 11 月 生きものの多様性とインクルージョン教育 その4（共著）星槎大学附属研究センター研究集録 No.9, 90-92.</p> <p>平成 28 年 3 月 星槎大学初代学長山口薫先生を悼んで（単著）行動分析学研究, 30, 124-127.</p> <p>平成 28 年 6 月 生きものの多様性とインクルージョン教育（共著）共生科学 No.7, 46-58.</p> <p>平成 28 年 9 月 スリランカにおけるインクルーシブ教育（単著）星槎大学附属研究センター研究集録 No.10, 80-83.</p>		

氏名	仁平 義明	担当科目	教育心理学、教育心理学（初等）
学位	文学修士		
業績 （教職 に係る もの）	<p>&lt;著書&gt; 平成 22 年 3 月 平成 24 年 7 月 平成 26 年 3 月 &lt;学術論文等&gt; 平成 20 年 平成 21 年 平成 21 年 平成 21 年 平成 21 年 平成 21 年 平成 21 年 平成 22 年 平成 23 年 平成 24 年 平成 25 年 平成 26 年 平成 27 年 平成 28 年 平成 28 年 平成 29 年</p>	<p>『子どもに障害をどう説明するか—すべての先生・お母さん・お父さんのために—』（共著） 『ルポ・発達障害—あなたの隣に』（分担執筆） 『こころが育つ環境をつくる—発達心理学からの提言』（分担執筆）</p> <p>Contrasting Rorschach test results in Asperger's syndrome and high-functioning Autism. Sex differences in object location memory: The female advantage of immediate detection of changes. 「人間力育成のパラダイム・シフト—ハーディネス（心の頑強さ）からレジリエンシー（心の回復力）へ— ネガティブな体験の肯定的な語り直しによる自伝的記憶の変容。 統合失調症の大学生に対する卒業をゴールとしない支援—学生相談のもう一つの方向— The effect of negatively worded measures of self-esteem on children. アスペルガー障害学生の学業支援 高校生になぜ心理学教育をするのか—大学と高校の心理学教育のちがいで— 子どもの虐待と心の回復（レジリエンス）の指標 “サイバーいじめ”に関する研究の動向—対応のためのエビデンス— Autistic children have difficulty perceiving a face as the global feature of a compound stimulus 「自尊感情」ではなく「自尊心」が “self-esteem” の訳として適切な理由— Morris Rosenberg が自尊心研究で言いたかったこと— 自閉症スペクトラム者の家族のレジリエンス ほめられてなぜうれしいか、ほめられたのになぜうれしくないか—「ほめ研究ゼミ」の教育 エビデンスに基づく「いじめ対応」最前線</p>	

氏名	服部 由季夫	担当科目	体づくり運動Ⅰ、体づくり運動Ⅱ、生理学、衛生学、比較文化論（２）
学位	修士（体育学）		
業績 （教職 に係る もの）	<p>&lt;著書&gt; 平成 24 年 2 月 平成 26 年 12 月 平成 29 年 3 月 平成 29 年 3 月 平成 29 年 3 月 &lt;学術論文等&gt; 平成 21 年 9 月 平成 23 年 3 月 平成 23 年 3 月 平成 23 年 3 月 平成 25 年 3 月 平成 28 年 3 月 平成 29 年 3 月 平成 29 年 3 月</p>	<p>共生科学研究序説（共著）なでしこ出版 5 ページ 手指の左右非対称動作における局所脳内酸素動態（共著）運動とスポーツの科学第 20 号 1 バランストレーニングが脳波に及ぼす影響（単著）星槎大学紀要 12 号 体育教員養成課程の生理学授業における体液と維持と熱中症予防の理解を進める為の飲料に関する実験（単著）星槎大学教職研究 1 号 血圧測定から見る自律神経の働きと生理学的な機序（単著）星槎大学教職研究 1 号</p> <p>職場全体で取り組むメンタルヘルス（共著）介護人材育成+ 7・8 月号 職場の共生におけるスピリチュアリティの役割（共著）共生科学第 1 巻 共生的健康を考える（単著）星槎大学紀要第 5 号 10 頁 大学体育授業におけるホームワークの試行と効果—バスケットボール授業について—（共著）神奈川体育 9 頁 職域における共生への課題—メンタルヘルスを中心として—（共著）共生科学第 3 巻 障害のある児童生徒の体育活動における指導の在り方調査研究（共著）平成 27 年度報告書 72 頁 労働衛生の視点からストレスと協働に基づく健康職場づくり（単著）星槎大学教職研究 1 号 オリンピック、そして国と国民との共生、ひいてはグローバリズム（単著）星槎大学紀要 12 号</p>	

氏名	林 直樹	担当科目	体づくり運動Ⅰ、体づくり運動Ⅱ、バドミントンⅠ、バドミントンⅡ、
学位	修士（体育学）		
業績 （教職に 係るもの）	<著書> 平成 29 年 8 月 <学術論文等> 平成 20 年 3 月 平成 22 年 3 月 平成 26 年 3 月 平成 27 年 3 月 平成 29 年 3 月 平成 29 年 6 月 平成 29 年 6 月	「気になる子もいっしょに 体育ではじめる仲間づくり、学級づくり」（共著）学研 「バドミントン競技におけるゲーム分析の試行と今後の方向性」（単著）流通経済大学スポーツ健康か学部紀要 Vol.1pp.123-129 「大学体育授業におけるナイロンシャトルの保管方法に関する考察」（単著）中央大学紀要体育研究第 44 号 pp.41-44 「ロンドンオリンピック 2012・バドミントン競技の男子シングルス決勝戦のゲーム分析」（共著）東京体育学研究第 5 巻 pp.21-26 「スポーツ活動を通して共生理念に触れる -バドミントン授業における“トリプルス”の導入を例にして-」（単著）共生科学第 6 巻 pp.43-51 「体づくり運動の授業における『気づき』と『調整』の具体的記述の必要性について」（共著）星槎大学教職研究第 1 巻 pp.25-32 「バドミントン・トッププレーヤーによる違法カジノ賭博事件の根本的問題」（単著）共生科学第 8 巻 pp.51-62 「スポーツを通じた共生教育」（共著）日本共生科学会第 8 回大会抄録 pp.45-48	

氏名	細田 満和子	担当科目	社会学Ⅰ、社会学Ⅱ、公衆衛生学
学位	博士（社会学）		
業績 （教職に 係るもの）	<著書> 平成 24 年 1 月 平成 24 年 5 月 平成 24 年 5 月 平成 25 年 8 月 平成 27 年 1 月 平成 27 年 8 月 平成 29 年 1 月 <学術論文等> 平成 25 年 5 月 平成 26 年 4 月 平成 28 年 11 月 <その他> 平成 27 年から 平成 27 年から 平成 29 年から	パブリックヘルス 市民が変える医療社会、明石書店 復興は教育からはじまる、明石書店 「チーム医療」とは何か、日本看護協会出版会 知って得する予防接種の話、東洋経済新報社（オンライン出版） グローカル共生社会へのヒント、星槎大学出版会 現代医療の支持構造—コメディカル（第 5 章）、〔新版〕現代医療の社会学—日本の現状と課題、中川輝彦・黒田浩一郎編、世界思想社 Bhutan Education, Globalization, and Preservation of Traditional Language, Challenges Associated with Cross-Cultural and At-Risk Student Engagement, IGI Global, PP.27-41. Living with a Misunderstood Disease, EJAIB, Vol. 23 (3), 70-72. インクルーシブスポーツの課題と可能性、共生科学研究、No.19, 136-144, 障害者差別解消法の社会的意味、臨床作業療法、Vol.13, No.5, pp.437-439 日本保健医療社会学会理事、社会学系コンソーシアム評議員 International Sociological Association RC15 理事 Asia Pacific Sociological Association 会長	

氏名	丸本 茂樹	担当科目	特別活動の指導（初等）、特別活動の指導法、教職実践演習（中・高）
学位	学士（教育学）		
業績 （教職に係るもの）	<p>&lt;学術論文等&gt; 平成 29 年 9 月 （発刊予定）</p> <p>&lt;その他&gt; 平成 28 年 4 月～ 平成 29 年 3 月</p> <p>平成 28 年 8 月～ 平成 28 年 12 月</p>	<p>子どもたちの現状と特別活動（初等）の果たす役割—通信制大学教員養成課程における特別活動の進め方—（単著）星槎大学教職研究第 2 巻</p> <p>アクティブラーニングを意識した実践事例 小机小学校の特別活動「学級会」の校内研究の中で、学級の問題を発見するプロセス（学級の現状や問題について共有する話し合い、解決を必要とする共通の問題を議題化、集団決定を必要とする自治的な話し合い、話し合いをもとに実践活動、振り返りの場を設定し、次の活動につなげる。）を重視した授業展開をするよう指導・助言</p> <p>教育実践演習（専門教科 中社・高公民）の中で生徒にどのようにしてアクティブラーニング型の授業展開を図るかの指導法を教授し、その後、意見交換。指導案作成の中にアクティブラーニングの内容を盛り込み、模擬授業でも展開</p>	

氏名	山脇 直司	担当科目	公共哲学
学位	哲学博士（ミュンヘン大学）		
業績 （教職に係るもの）	<p>&lt;著書&gt; 平成 20 年 1 月 平成 20 年 11 月 平成 21 年 11 月 平成 23 年 12 月 平成 28 年 8 月</p> <p>&lt;学術論文等&gt; 平成 27 年 1 月</p> <p>同上 平成 27 年 11 月 平成 28 年 3 月 平成 28 年 5 月 平成 29 年 3 月</p> <p>平成 29 年 3 月</p> <p>&lt;その他&gt;</p>	<p>『グローバル公共哲学：活私開公のヴィジョンのために』東京大学出版会 『社会とどうかわるか：公共哲学からのヒント』岩波書店 『社会思想史を学ぶ』筑摩書房 『公共哲学からの応答：3.11 の衝撃の後で』筑摩書房 <i>Glocal Public Philosophy</i> Lit Verlag</p> <p>「近代哲学から STS と公共哲学へ：教養教育のための一視角」山脇直司編『科学・技術と社会倫理』東京大学出版会 「原子力時代における倫理概念の再構築」同上 「公共哲学とは何か 再考」『東洋学術研究』第 54 巻第 2 号 「共生科学と共生思想：その素描」『共生科学研究 No.11』星槎大学紀要 「地球的危機における公共哲学の役割」『東洋学術研究』第 55 巻第 1 号 「諸学問と倫理・哲学、ポスト専門化時代の知の統合」JST 開発戦略センター編『科学をめざす君たちへ——変革と越境のための新たな教養』 「スポーツの公共哲学事始め」『共生科学研究 NO.12』</p> <p>（所属学会） 日本哲学会、経済学史学会、進化経済学会、日本政治学会、日本共生科学会（会長）、社会思想史学会、日本平和学会、科学技術社会論学会、地球システム倫理学会（理事）</p>	